

厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」  
関東・甲信越ブロック(南関東)

共催:造血幹細胞移植推進拠点病院  
国立がん研究センター中央病院

造血幹細胞移植推進地域拠点病院  
東海大学医学部付属病院

若手移植医へのWEBセミナー

# 同種造血幹細胞移植の取り組み

～静岡県立静岡がんセンター～  
講師:血液・幹細胞移植科  
池田 宇次 医師

静岡県立静岡がんセンター  
池田 宇次

東海大学医学部付属病院  
鬼塚 真仁

2023年11月29日(水)19:00～20:30

会場:Zoomを用いたオンライン会場  
対象:若手造血幹細胞移植医

国立がん研究センター中央病院  
福田 隆浩

造血幹細胞移植推進拠点病院の事業の一環として、南関東・甲信越ブロックにおけるセミナー開催等の地域連携に取り組んでおります。

2023年11月29日に、造血幹細胞移植領域の若手移植医を対象に、自身の治療方針で迷いが生じた場合に、他の施設であればどう対応するのだろうか？自施設の対応は正解なのか？といった問いに答えるための会を企画し、14名に参加いただきました。

## ご講演内容

1. 移植動向
2. 移植適応
3. ドナー選択
4. 移植前処置
5. 感染症対策
6. 支持療法
7. GVHD予防と治療
8. 今後の取り組み

本日の講演について

満足 0%

やや不満足 0%

やや満足 14%

満足 86%

アンケート回答者:7名

- ・非常にクオリティの高いご講演でした。ありがとうございました。
- ・郊外の病院の先生が施設の特色をお話して下さった点が極めて有意義でした。ありがとうございました。

## 今後の課題

池田:遠くてなかなか来れなくて、救急車で運ばれてきたという方がいたり、最近、山梨大学さんが移植を頑張っておられるので、数は減ったんですけど、冬場、山梨側から凍っていて来られなくて、結局間に合わなくて、みたいな症例がありました。逆に、地元をお願いをしても、けんもほろろだったりしますから、地域全体として、初期対応のマニュアルとまで言うと言い過ぎなんですけど、地域全体がチームになれるとすごくいいなあっていうのは思います。

鬼塚:地域拠点病院の事業としては、お家に帰った人たちを、地域の施設でいかにうまく見ていくかっていうところも、そろそろ着手しないといけないんじゃないかなというふうには思いますね。ぜひ地域拠点から、さらにその地域の施設との連携の強化というのは一つ取り組んでもいい課題かなというふうに思っています。

■セミナー企画:東海大学医学部付属病院 造血幹細胞移植推進地域拠点病院

■お問い合わせ 運営事務局:東海大学医学部付属病院 造血幹細胞移植推進地域拠点病院事務局

TEL: 0463-93-1121 内2237 Mail: hsct@tsc.u-tokai.ac.jp

※記載していただいた個人情報は、当事業で行うセミナー等の案内以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもございません。取得した個人情報は管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。